

# カラスによるごみ散乱を防止するためのひと工夫

集積所は、利用者の皆様で管理をお願いしています。トラブルなどにならないよう、**協力し合って**適正に管理してください。



カラスは賢く、学習能力に優れた生き物です。一度エサがあると認識した場所は、繰り返しエサをあさる習性があります。また、カラスは嗅覚が鈍く、視覚に優れているため、生ごみ等が「見える」と「エサがある」と認識し、集積所が荒らされる原因になります。このため、生ごみ等を「見せない」、見えても「つかせない」ことがカラスによるごみ散乱を防止するために必要です。

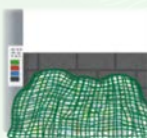
1. 生ごみを見せない
2. つついても中身を出せない



集積所がカラスに荒らされるのを防ぐ

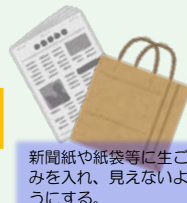
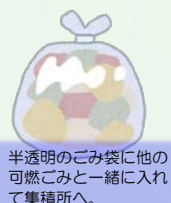
## 1. ごみ散乱防止用ネット(カラス除けネット)でごみをしっかり覆いましょう。

- ①カラスがごみをつついて中身が散乱しないように、カラス除けネットでしっかりと覆いましょう。
- ②カラス除けネットに重石(水を入れた2ℓのペットボトル等で代用可)を括り付け、簡単に隙間ができないようにしましょう。
- ③カラス除けネットを二重に被せて、重さを増し、カラスが簡単にめくれないようにしましょう。



## 2. 新聞紙や紙袋等に生ごみを入れ、外から見えないようにしましょう。

生ごみ等がごみ袋の外から見えるように排出され、簡単につついて出すことができる状態は、カラスに狙われやすいです。このため、生ごみ等は、新聞紙、紙袋等で覆い、外からは見えないようにして、ごみ袋に入れましょう。



## 3. 決められたルールに基づいて、ごみを出しましょう。

収集日の前日や夜間にごみを出すと長時間ごみが置かれることとなり、カラスがエサを探す時間を与えることとなります。このため、集積所にごみを出す時はルールに基づいて、「**決められた収集日の朝、明るくなってから8時まで**に」集積所に出すようにしましょう。



ごみの分別や出し方は、草加市ごみ収集カレンダーや草加市ごみ分別アプリをご覧ください。アプリのダウンロードは、次のQRコードからできます。

